

認知症有病率等調査について

都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応
（厚生労働科学研究 筑波大学 朝田教授）

認知症有病率等調査について

都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応

(厚生労働科学研究 筑波大学 朝田教授)

【認知症有病率等】

○認知症の全国有病率推定値15% (95%信頼区間で12%～17%)

○全国の認知症有病者数約439万人 (平成22年) と推計。(95%信頼区間で約350万人～497万人)

【MCI有病率等】

○MCI (正常でもない、認知症でもない (正常と認知症の間) 状態の者) の全国の有病率推定値13% (95%信頼区間で10%～16%)

○全国のMCI有病者数約380万人 (平成22年) と推計。(95%信頼区間で約292万人～468万人)

※上記は、全国の65歳以上の高齢者についての推計値である。

◆調査内容等◆

・調査期間: 平成21～24年度

・調査地域: 全国10か所の市町

平成21年度: 宮城県栗原市、茨城県利根町、新潟県上越市、
愛知県大府市、島根県海士町、佐賀県伊万里市、
大分県杵築市

※宮城県栗原市は、東日本大震災の影響を考慮して解析の対象から除外

平成23年度: 茨城県つくば市、福岡県久山町、福岡県大牟田市

※有病率の推定にあたっては、医師による面接調査までの完遂率の高さを
考慮し、上越市を除く8地域のデータを用いた。

・調査対象: 65歳以上の高齢者

・10市町の住民基本台帳より無作為抽出	9,278名
うち調査対象者	8,964名
参加者総数	6,131名 (68.4%)
・分析には、上記のうち8市町の参加者を引用	5,386名

・調査方法

1. 会場調査 (体育館等)

① 訓練された調査員による問診・神経心理検査、および血液検査
(含遺伝子検査)

② 医師による神経学的および身体的診察

③ 認知症が疑われた場合、頭部MRI撮像

2. 来場困難者への訪問調査

病院・施設・自宅等に赴き、会場調査同様の調査を行う

実態を調査するため全国より10カ所で調査を行った



認知症有病率調査と厚生労働省の推計との関係について

(平成22年時点の関係性)

- : 認知症有病者数 350万人～497万人 (65歳以上高齢者の12～17%)
- : 要介護認定者のうち認知症高齢者の日常生活自立度II以上 280万人

高齢者人口 2,874万人

